



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2010-2011年度 R I 会長 レイ・クリンギンスミス



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度 第2590地区ガバナー 川野 正久

- | | | | |
|-----------|-------|-----------|--------|
| ● 会長 | 横山 範夫 | ● 会長エレクト | 加藤 仁昭 |
| ● 副会長 | 渡邊 淳 | ● 副会長 | 月山 勇 |
| ● 幹事 | 飯田 泰之 | ● 副幹事 | 天野 公史 |
| ● 会計 | 朝日 達夫 | ● 副会計 | 田口 健太郎 |
| ● S A A | 伊澤 政宏 | ● 副 S A A | 小池 将夫 |
| ● 副 S A A | 山本 芳弘 | ● クラブ会報 | 金森 欣一 |

●クラブテーマ「コミュニケーション」●



- 事務局** ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555
- 例会日** 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)
- 例会場** ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和 51 年 5 月 29 日
- URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2010-2011年度 第19号週報 No. 1673 2010年(平成22年) 11月19日 第1673回例会記録 11月26日発行

司 会 天野 公史 副幹事

誕生日祝

白鳥 厚夫 会員 (11月19日)
小池 将夫 会員 (11月21日)
我妻 隆邦 会員 (11月21日)
長井 章 会員 (11月22日)
吉橋佐千男 会員 (11月30日)

点 鐘 横山 範夫 会長

斉 唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 堀 浩 様 (ゲストスピーカー)

ビジター紹介 横浜RC 大西 晴之 様



本日〈11月26日〉のプログラム
優良職場訪問、及び移動例会

結婚記念日祝

川邊 正男 会員 (11月17日)
吉橋佐千男 会員 (11月23日)
田中龍太郎 会員 (11月27日)
我妻 隆邦 会員 (11月28日)
飯田 泰之 会員 (11月30日)
大西 弘文 会員 (12月2日)



会長報告

横山 範夫 会長

- 先週の指名委員会により、次年度会長エレクト候補者として飯田泰之現幹事が指名されました。よって、規約に則し、本日より12月3日の年次総会まで、次年度理事・役員候補者を掲示致します。
- 地区から訃報が届いております。第2590地区 パストガバナー(2002-03年度)工藤護(まもる)氏(横浜保土ヶ谷RC)が11月15日にご逝去されました。(享年71歳)
故人のご冥福をお祈りし、謹んでご報告申し上げます。
- 11月度定例理事会報告
- R I 事務局より雨宮和則会員にポール・ハリス・フェロー・ピンが届いております。

幹事報告

飯田 泰之 幹事

- 本日、例会終了後にクラブ奉仕によるクラブフォーラムを開催致します。会場が当初予定のジョイスよりジュビリーIに変更になりました。お間違えのないようお願い致します。
- 次週は優良職場訪問、及び移動例会となります。

集合 13:30にキャメロットジャパン 例会点鐘 17:30

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 高田 修

二泊三日台北滬尾扶輪社訪問紀

2010年11月13日(土)早朝、10月31日にニューオープンになった羽田国際空港より、2011年4月に創立5周年を迎える台北滬尾扶輪社の記念行事へ出席する為の打合せに、飯田泰之幹事・田邊正彦パスト会長・岩岡眞三郎元会員・高田修国際奉仕委員長・富塚修(高田

友人：第1643回例会時の卓話者)の5人で、移動例会にして頂いた第238回例会(場所：北區海霸王餐廳、午後6時開催)と歓迎会に出席して参りました。

花進財会長・許家福幹事・李江河国際奉仕委員長・林錫卿会員等27人の会員中26人の会員と、多くのご夫人達にご出席され、盛大な歓迎を催して頂きました。

例会時中、飯田幹事からお礼の言葉や国際奉仕委員長より来年4月の訪問の約束をお話させて頂きました。

2日目(日)は5人(田邊・岩岡氏ガイド)で、ローカル電車&バスを乗り継いで『九份』へ行って来ました。2007年秋に上映された「風を聴く～台湾・九份物語～」の舞台になった場所で、2001年に公開された「千と千尋の神隠し」のモデルになった町として紹介された為に、日本から尋ねる方々も多く、元々は19世紀末に金鉱町として栄えた昔懐かしい町並みで、茶屋(田邊さんごちそう様)からの眺めも最高で、ゆったりとした時間を過ごさせて頂きました。

また、夜は陳水源会員主宰のアットホームな歓迎会(場所：紹香園、午後6時半開催)を催して頂きました。出席者は飯田・高田・富塚の3名、滬尾扶輪社側は花会長夫妻・劉文正パスト会長・陳会員夫妻と通訳で花会長の従弟の施俊宇夫妻(今年6月に結婚)でした。個人的な仕事や家族の話やらで楽しい一時を過ごしました。

3日目(月)は日本に帰る日ですが、林錫卿会員主宰のお別れ会をお昼に催して頂きました。台湾大学出身の林会員は大変な地元名士でもあり、台大の校友会のレストランで我々5人を慰労して頂きました。途中日本の神戸大学で教授もされている邱明民先生を紹介して頂きました。邱先生は日本の釘を使わない建物(水上勉の生家：福井県)を淡水鎮市へ移築されたとか。一度淡水鎮市へ訪問した際には見てみたい場所です。

3日間を通じて、彼等のフレンドリーさや我々をとことん楽しませるといったショーマンシップのようなものが強く感じられ、次回行く来年4月が待ち遠しく、日本に帰って来てからも訪問した日々を思い出しています。(帰って来てからもメールでお便りや写真が送られて来ました)

また、台湾での過ごし方ですが、マッサージ評論家の高田が3種類のマッサージを体験して来ました。ご自身で訪台される方や来年4月に訪台される方は是非経験してみましよう。

(撮影 台北滬尾RC)





長井 章君 誕生日祝い、ありがとうございます。いよいよ50代の後半です。

白鳥厚夫君 誕生日祝い、ありがとうございます。毎年自分の歳を思い出させて頂き、ゾーンとしています。

大西弘文君 46回目の結婚祝いを祝って頂き、ありがとうございます。我々夫婦は高齢者扱いの老人グループに間もなく足を突っ込む世代になりますので、お互いに自分の体に留意して病気にならぬ様に気を付けて生きて行きたいと思います。

飯田泰之君 ①横浜RCの大西様、ようこそいらっしゃいました。②結婚祝い、ありがとうございます。近年、悪気なく忘れて女房にネジまかされています。

川邊正男君 結婚祝い、ありがとうございます。

横山範夫君 堀浩様、卓話よろしくお願い致します。

山本 登君 本日所用にて早退致します。ご容赦下さいませ。

河野明光君 昨夜はボジョレー・ヌーボより「ひれ酒」を飲み過ぎてしまい、今年度のボジョレーの出来具合に関し、記憶がありません。もったいないことをしました。

江森国一君 次週は優良職場訪問です。ご参加の皆様、昼食を済ませて午後1時30にご集合下さい。よろしくお願い致します。

渡邊 淳君 ①大西様、本日はようこそおいで下さいました。②本日のクラブフォーラム、皆様のご参加をお待ち申し上げております。③ロータリーバンド「ケロック」の研修会では、西山さん、山本さん、そして脇田さん、大変お世話になりました。

西山 潔君 ①堀先生、お久しぶりです。歯科医師会のイベントで、以前大変お世話になりました。今日の卓話楽しみにしております。②脇田さん、渡邊さん、山本芳弘さん、先日はありがとうございました。

脇田いずゞさん 今晚のテーブルミーティング、お邪魔します。よろしくお願い致します。

森永 健君 本日は所用にて中座します。よろしくお願い致します。

茂木知子さん 懐かしい横浜駅、古い東口の駅舎の写真を見て、河野会長は子供だったので古い駅舎の記憶はないそうです。きっと物心つくのが遅かったのだと思います。そして、オムツもなかなか取れなかったと思います。けれども手は早かったようです。

金森欣一君 結果はともかくとして、やっとAPECが終わり、会社周辺の厳戒体制から解放されました。今夜の第一テーブルミーティングを楽しみにしています。

山本芳弘君 先日は西山さん、脇田さん、楽しい時間をありがとうございました。また、渡邊さん、ご馳走様でした。

出席報告

森永 健 委員長

会員総数	56名	(42+14)名	
出席会員数	38名	(32+6)名	
出席率	79.17%		
ゲスト	1名	ビジター	1名
前回補正後	94.12%	前々回補正後	92.45%

スマイルボックス

伊澤 政宏 SAA

横浜RC 大西晴之様 本日はお世話になります。

小池将夫君 ①堀先生、卓話よろしくお願ひします。②誕生日いありがとうございます。久しく家庭内では誕生日をやってくれていません。

11月19日	18件	51,000円
本年度累計		991,600円

「動物のコミュニケーション」

NPO法人 アジア産野生生物研究センター 代表
堀 浩 様
(紹介者 小池 将夫 会員)



コミュニケーションとは、簡単に言えば「情報の伝達」ですが、社会生活を営む動物たちにとって、生きて行くには欠かせない行動です。特に我々人間にとって、知覚・感情・思考などを言語・文字・声や身振り手振りなどの視覚・聴覚を駆使し個々間で訴え合い、理解し合っているのですが、これらは通常特に考えることなく行っています。

しかし、このコミュニケーション、いわゆるこの伝達方法を一度間違え、伝わらない（理解しあえない）場合は、大きな問題となり、利害関係などの保守要因がかさなり、最終的には生死の戦いまで発展してしまうという社会生活とコミュニケーションの関係は切っても切り離せない大切な行動であることは誰もが知るところなのです。でも、このコミュニケーションとは簡単なことでもあり難しいことでもあるのです。

人間以外の動物たちにもコミュニケーションは存在するのかと言えば、見方に寄れば動物だけでなく植物にもみられ、生物全てにみられることで成り立っており、人間だけのものではありません。

コミュニケーションの取り方にもその種ごとに違いがあります。

クジラやイルカの仲間、ゾウの言葉のやりとり、またサル類、特に高等猿類であるチンパンジーやゴリラなどは研究も進み多くの方が知るところです。これらは同種のなかでのコミュニケーションですから、自分たち仲間だけでわかり合えばいいのですが、野生での生活はいろいろな種が同地域で重なり合い、他の種とのコミュニケーションは非常に難しく、「危険」か「安全」かの最低単位で生活（棲み分け）しています。

同種の中でも上手く行かないコミュニケーションを他の種と取らなければならない難しい立場に置かれている動物が我々人間の身近にいます。それは犬や猫を始めとするペットとかコンパニオンアニマル等と呼ばれる動物たちです。

動物の基本は「生きる」ということですから、どの様にすれば自分が安全に生きながらえるのか、そのための食べ物の確保をどの様にすれば出来るか等を潜在意識として動物たちは持っています。彼らが「生き生きとした生活」が出来るか、「生きるためだけの生活」をしなければならないかは飼育方、接し方で決められてしまいます。

では言葉の通じない動物たちとどの様にコミュニケーションを取れば双方に良いかという視覚・聴覚に頼ることが最適で、笑顔や優しい声は当然ですがその中でも「目線」に気を配ることが重要です。上から見下ろす目線は「威嚇の目線」、下から見上げる目線は「甘えの目線」、平行目線は「対話の目線」と言います。目線を平行に合わせ、動物と対話する状況・環境をつくることで動物と人間双方信頼出来る良いコミュニケーションが取れるものと考えます。

クラブ奉仕クラブフォーラム

テーマ クラブ活性化のために何ができるか
～委員会活動における創意工夫～

11月19日（金）例会終了後にジュビリーⅠに於いて、クラブ奉仕によるクラブフォーラムが開催されました。



次回《12月3日》の卓話予定
テーマ「ポリオプラスプログラムについて」

第2590地区 R財団増進委員 青柳 紀 様